

企業ニーズ実現へ

みち銀と協定合意

弘大

弘前大学(遠藤正彦学長)とみちのく銀行(杉本康雄頭取)は二十一日、地域の新規事業シーズの発掘と相互の発展を目指し

「連携協力協定書」を締結することで合意した。協定は弘大とみち銀が連携協力し、大学研究シーズと企業シーズのマッチング事業実現に向けて

地域経済の活性化に取り組みることが目的。具体的な対応としては、みち銀が地元企業のニーズを幅広く吸収し、弘大とも

た場合は金融支援などの相談を受ける。専門内容は「地域経済活性化」「大学の研究成果等」「大学発ベンチャー企業」の三項目に関する

る情報交換と支援、地域企業の研究開発ニーズなどの紹介支援。

弘大とみち銀は、二十五日に青森市内で協定調印式を行う。

研究成果の事業化支援

弘大とみち銀 25日に連携協定

弘前大学とみちのく銀行と地域企業のニーズを「定」を結ぶ。

行は二十五日、青森市の結びつけ、地域経済の活性化を図る「連携協力協定」を結ぶ。弘大の研究成果と、みち銀の幅広いネットワーク

クを生かし、相互発展と新規事業の発掘を目指す。

みち銀が地元企業のニーズを吸収し、大学と共に研究から事業化した際には、金融支援などの相談に応じていくことを事

業の柱とする。

連携事業の内容は、地域経済活性化に関する情報交換、大学の研究成果や大学発ベンチャー企業に関する情報交換や支援に取り組み。